

第4回 八王子市 がん予防推進計画策定検討委員会 議事要旨

日時:平成24年11月15日(木)

精度管理部会:18時～19時

検討委員会:19時15分～21時

場所:八王子市保健所

◆精度管理部会

開会 18時

閉会 19時

◆検討委員会

開会 19時15分

1. 精度管理部会の取組み報告と精度管理状況について
2. 第3回議事要旨確認
3. がん予防推進計画 素案について
(説明ののち、ディスカッション)
4. 今後のスケジュール
5. その他

閉会 21時

議事要旨1. 精度管理部会

【総論】:

全国トップレベルの精度管理を目指し、踏み込んだ施策をさらに継続して行っていくために、次年度も精度管理に関する議論を行う場を設定し、継続的な議論を進めていく。

市の精度管理は高い水準を維持しているが、さらなる向上に向けては様々な観点からのより一層の議論、および取り組みの実施が求められる。

【各論】議論に挙げた事項:

精検未把握者への 電話によるアプローチ

- ・精検未把握者に対し電話での勧奨を行うことにより、未把握が大腸がんを除きほぼ0%となるという成果が出ている。
- ・今後は未把握の多い大腸がん検診について重点的に電話勧奨を行い、精度管理の向上を目指す。
- ・市から1次医療機関への電話も検討。

対象者の選定 に関する議論

- ・65歳以上は肺がん検診以外でレントゲンをとることが可能だが、未だ各医療機関で65歳以上に対する肺がん検診の実施割合が高い。
- ・適切な対象者に受診していただくことが重要だが、そのためには適切な対象者が誰なのか、に関する市からのアナウンス、説明が必要であるため、今後検討する。

肺・乳がん検診での 読影体制について

- ・肺がん検診はレントゲン写真が蓄積しており、二重読影に加え比較読影が可能。一方乳がん検診はまだ比較読影が毎回できるような体制にはなっていない。
- ・乳がん検診の読影の際、5段階評価で要精検か否かを判別するが、現在3に位置する対象者は一応要精検としている。この基準を変更することで要精検率を絞ることは可能。

大腸がん検診でのさらなる 精度管理向上を目指して

- ・医療機関別の各指標のばらつき改善に向け、特に目立ったところに関しては医師会からの指導を行うと共に、長期的にはキットの統一を目指して検討を進めていく。
- ・大腸がん検診で取り組みの成果が出れば、全国トップレベルの精度管理にまた一層近づくこととなる。

議事要旨2. 検討委員会

【総論】:

「早すぎる死を防ぐ」ためのがん予防推進計画について、市の明確な方針が市民に伝わるよう、可能な限り様々な観点からの意見を取り入れながら、最終化を進めていく。

がん予防推進計画の策定にあたっては、本委員会で出た活発な議論と、パブリックコメントでいただくご意見を踏まえ、より市民にわかりやすい内容に洗練させていく必要がある。

【各論】議論に挙げた事項:

がん予防推進計画の内容について

- ・用語の統一をしっかりと行い、同じ言葉を多義的に使用しないように修正を行う。
- ・乳がん検診の視触診に関して、市の財政負担や、科学的根拠の有無、あるいは今後の展望などをどこで議論する課に関する記述を、昨年度検討会報告書においてどこを見れば分かるのか、を明示する。
- ・栄養・食生活について、野菜・果物を豊富にとるということに関して注釈づけによる補足を行う。
- ・基本理念について文言の調整を行う。
- ・継続受診している方がどれくらいいらっしゃるのかに関するデータの提示。
- ・歯と口腔の健康について記述を追加。
- ・医師から禁煙に向けた取り組みを行うということに関するパンフレットなどの提示を行う。
- ・議論およびパブリックコメントを踏まえ修正した点については、対照表を作成し提示する。
- ・取り組みを5年間にわたってどう実施していくのか、に関して「検討」だけでなく、可能であれば「実施」の時期も明示する。